

TCOの削減と高速化/複雑化するネットワークの運用管理をサポート。

富士通のネットワーク管理製品は、ネットワークの効率的な運用とTCO削減を実現します。それぞれに特徴的な強みを持つ2種類のSNMPプラットフォーム(SystemWalker / CentricMGR, Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT)、きめ細かな管理を可能にするアプリケーションNetEyemanagerシリーズの連携により、ネットワーク管理部門を強力に支援します。

アプリケーション

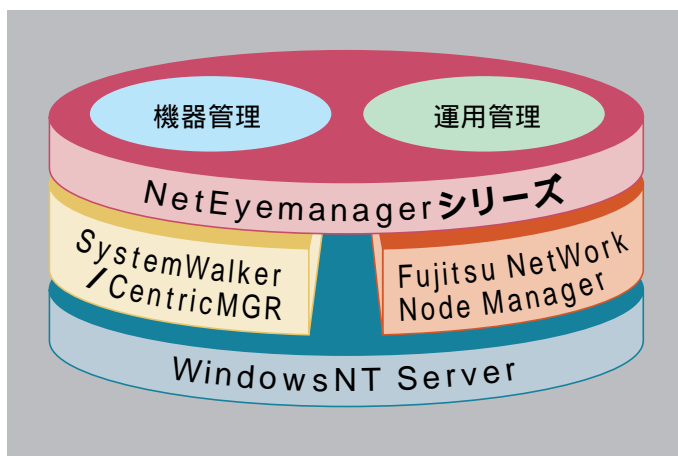
NetEyemanagerシリーズ

- ・SNMPプラットフォームと連携
- ・ネットワーク機器の詳細管理
- ・IPアドレス管理などの運用管理

SNMPプラットフォーム

SystemWalker / CentricMGR

- ・クライアントサーバまで含めたシステム管理



SNMPプラットフォーム

Fujitsu NetWork Node Manager for WindowsNT

- ・ネットワーク専用管理に強み
- ・マルチベンダネットワーク管理

ネットワーク・コンピューティング時代の統合運用管理ソリューション SystemWalker/CentricMGR

SystemWalker / CentricMGRは、ネットワーク・コンピューティング時代に対応した統合運用管理ツールです。小規模のクライアントサーバ環境から超大規模のネットワーク環境を一か所の管理サーバから集中管理することで、運用コスト(TCO)の削減とシステムの安定稼働を実現します。

業務のライフサイクルをトータルに管理

SystemWalker / CentricMGRは、企業システムを適切に維持・管理する上で必要なソリューションを提供します。デプロイメント、モニタリング、リカバリ、アセスメントという企業システムを維持していくためのライフサイクルを共通のフレームワークを使って管理します。

デプロイメント[導入/設定]

サーバまたはクライアントで使用するアプリケーションやデータなどの資源を一元管理し、対象のサーバやクライアントにオンラインで配付することができます。また、サーバ/クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、すでにインストールされているソフトウェアの情報を、インベントリ情報として収集し参照することができます。

モニタリング[監視]

ネットワークやシステム アプリケーションの稼働状況、障害発生、性能状況をGUIを使用した画面で集中的に監視できます。

イベントログ・SNMPトラップ・指定のログファイルなどに出力されたメッセージをSystemWalker / CentricMGRの運用管理サーバで集中管理します。WWWブラウザからビジュアルな管理画面を参照することもできますので、場所を選ばずに障害発生を監視できます。

リカバリ[復旧]

SystemWalker / CentricMGRでは、運用中にネットワークやシステムで発生するさまざまな障害の復旧作業を効率的に行うことができます。

アセスメント

サーバ/クライアントのソフトウェアのインストール数をチェックすることができます。蓄積されたヘルプデスク情報やライセンス情報を元にシステムの評価を行うことができます。

(*WindowsNT版のみ)



マルチベンダー環境のネットワーク管理プラットフォーム Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT は、トータルなネットワークリソースの管理プラットフォームです。ネットワークパフォーマンスの評価、障害の予測、ネットワークの拡張や再構築の計画の際、ネットワーク管理部門を強力に支援するツールです。

最新ネットワーク構成への自動更新とグラフィカルな構成管理機能

実際のネットワーク構成を、階層構造化したシンプルなマップとして表示します。また、最新のネットワーク構成を常時監視し、ノードの追加や削除、トポロジーの変更など、ネットワーク状態の変化を自動的にマップに反映します。

ネットワークダウンの回避と早急な復旧につながる障害管理機能

ネットワーク上の各ノードのステータスを定期的にチェックし、マップ上のシンボルの色の变化で表示することで、問題箇所を素早く特定します。また、障害、しきい値超過、ステータス変化などの各イベントを分類して管理者に自動通知します。

トラブル発生時の原因分析を支援する性能管理機能

SNMPをサポートするノードのMIB値を収集し、リアルタイムのパフォーマンス状況をグラフィカルに表示します。また、MIBしきい値をユーザーが定義することができるため、ネットワーク状態の柔軟な監視が可能となります。

大規模ネットワークの集中管理を可能にするMS - CS連携機能

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNTをMS(上位)とCS(下位)の二階層構成にすることにより、大規模ネットワークの集中管理が可能になります。各拠点のCSで収集した情報のうち、重要なものだけを中央のMSに転送します。これによって、各拠点と中央の間のトラフィックを最小限に抑えながら、分散したネットワーク環境を集中管理することができます。

その他の機能

Webインタフェースにより、リモートサイトから各種ネットワーク管理情報にアクセスできます。また、集中監視形態だけでなく、各拠点のFujitsu Network Node Manager for WindowsNTとの連携による階層構造管理が可能となります。さらに、保存データを外部のデータベースに出力することができ、データ管理が容易です。

本製品はHewlett-Packard社OpenViewのライセンス許諾製品です。OpenViewはHewlett-Packard社の商標です。



ネットワーク管理をよりきめ細かく支援するアプリケーション NetEyemanagerシリーズ

NetEyemanagerシリーズは、ネットワークの効率的運用とTCO削減を実現するアプリケーション群です。プラットフォームFujitsu Network Node Manager for WindowsNTや SystemWalker / CentricMGR と連携し、ネットワーク機器の管理、アドレス管理、性能管理、帯域制御など、よきめの細かいネットワーク管理を支援します。

機器管理

特長(NetEyemanager / LAN, SH, ATM-AS, ATM-EW, ATM-SH, CiscoWorks, Extreme)

- ・管理対象機器のポートや伝送路の状態を実機に近い機器イメージで表示
- ・管理対象機器の各種障害やイベントを管理可能
- ・富士通製ネットワーク機器の詳細管理が可能(LAN, SH, ATM-AS, ATM-EW, ATM-SH)
- ・マルチベンダーのネットワーク環境にも対応(CiscoWorks, Extreme)

運用管理

特長

IPアドレス管理(NetEyemanager / QIP)

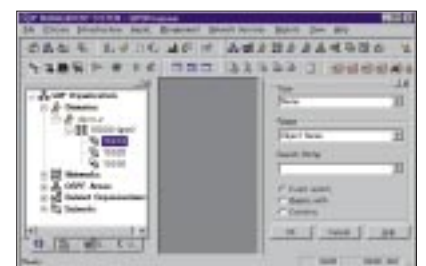
- ・DNSサーバ / DHCPサーバを自動連携し、ネットワークのIPアドレスをGUI上で一元管理
- ・DHCPサーバのバックアップ機能によりサービスを保証

VoIP電話番号管理 (NetEyemanager / VoIP)

- ・DNSサーバ / DHCPサーバを自動連携し、ネットワークのIPアドレスをGUI上で一元管理
- ・DHCPサーバのバックアップ機能によりサービスを保証



NetEyemanager / SH



NetEyemanager / QIP

ネットワーク監視製品

ポリシーベースでのネットワーク管理を実現 Policy Server for LAN

Policy Server for LANは、ネットワーク全体をひとつのリソースとして管理する「Policy Base Network」を実現する運用管理ソフトウェアです。設定情報の事前作成・一元管理・遠隔地からの設定などの機能をポリシーベースで行うことによりネットワークの運用管理コストを削減します。また、スケジュール管理機能により、ネットワークの設定内容を自動的に切り替えることが可能です。

設定情報の事前作成

機器の導入前に、実機と同じWeb画面で設定情報を作成することが可能。設定したデータはファイル転送によって対象機器に反映させることができます。

設定情報の一元管理

対象となる機器との間で設定情報の集信/配信を行い、機器の設定の一元管理をすることが可能です。この集配信にはポリシー管理に基づく部分的な情報の単位で行うことも可能です。

ネットワーク運用のスケジュールリング

ネットワークの設定をスケジュール化し、帯域制御やフィルタリングなどの柔軟な運用を行うことができます。たとえば、昼間にはオンライン業務の優先した帯域保証を行い、夜間の時間帯にはバッチ処理のトラフィックを優先させるなど、時間帯に応じた運用が可能になります。

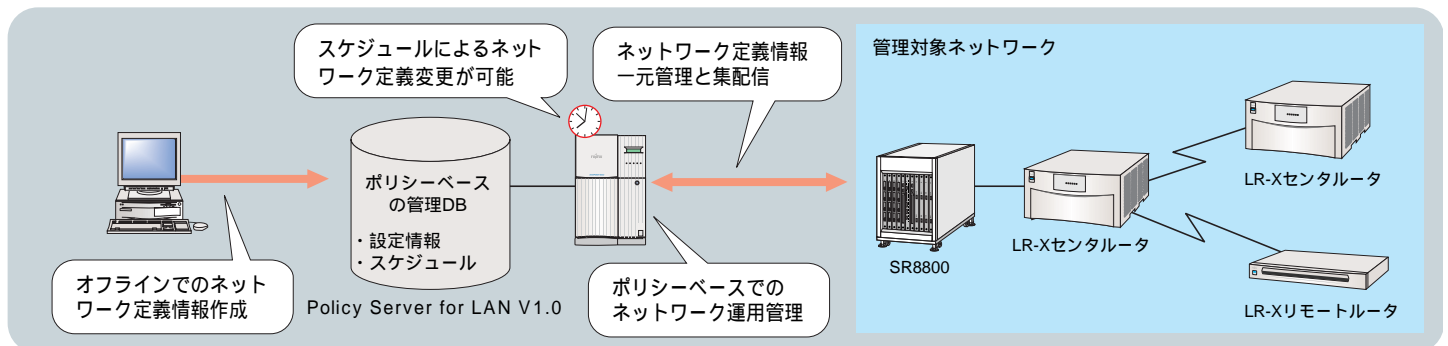
管理対象機器

機器	備考
LR-Xシリーズセントラルルータ	基本ソフトウェアV2以降に対応
LR-Xシリーズリモートルータ	基本ソフトウェアV3以降に対応
SR8000シリーズスイッチングルータ	

動作環境

WindowsNT Server4.0上で動作

管理対象機器



NEWS 特定情報通信機器の即時償却制度(いわゆるパソコン税制)について

本カタログに掲載されている装置とパソコンなどを組み合わせてご購入いただくと、税制上費用として償却できる場合があります。これは、平成11年4月から平成13年3月までに限り、100万円未満のパソコンなどが全額費用処理できる「特定情報通信機器の即時償却制度」(通称:パソコン税制、パソコン減税)によるもので、ネットワーク機器もこのパソコンの周辺機器として対象となります。この詳細につきましては、お近くの税理士事務所などにご相談ください。

記載の標準価格には消費税等は含まれていません。記載の製品仕様および外観、標準価格は都合により予告なく変更する場合があります。写真は印刷のため製品の色と多少異なる場合があります。外形寸法は全て突起部を含みません。各社および製品名は各社の商標または登録商標です。

より詳細な内容につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/Products/telcom/>

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の際は、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源、電圧でお使いください。

富士通株式会社

通信事業推進本部
ネットワークビジネス推進統括部ビジネス推進部
〒100-8143 東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビルディング)
TEL(03)3548-3647